

H 1 5 事業評価中間公表への市民意見検討経過調書

対象事業名	ふれあい雪かき運動助成事業	事業CD	T 5 2
担当部課	保健福祉部福祉生活課	部長氏名	棚橋 文男

意見の要旨	最終評価への反映状況	左の理由	関係協議部署
<p>地域モデル事業となっているが、地域の選定はどのような方法で行われているのか。例えば、一人暮らしの高齢者の実態、その地域密度の調査などがしっかり行われ、妥当性があるのかどうか点検が必要と思う。また、総合評価は「C」ではなく「D」と思う。</p>	<p>反映せず。</p>	<p>本事業は、特に地域を限定した事業ではなく、地域福祉活動自体のモデル事業であり、あくまで地域町内会等が自主的に実施する「除雪ボランティア活動」に対する助成事業であります。対象世帯については、一人暮らし等高齢者や障がい者世帯であります。特に市が指定しているものではなく、申請時に提出される名簿により審査しており、市が実態調査など細かな点検は行わず、あくまで地域の実態にあわせた主体性を尊重し、実施している事業であります。</p> <p>まだまだ全市的な取り組み状況にはなっていませんが、既に8地域では継続して実施しており、地域に住む高齢者や障がい者にとって冬期間の生活の安全確保と地域で支え合う地域福祉の促進には必要な事業として現段階では「C」評価といたしました。</p>	<p>保健福祉部福祉総務課（口頭、12/18）</p> <p>事業評価会議での検討(1/15)</p> <p>市長・助役ヒアリング(1/28)</p>
<p>「6事業の観点別評価」の「2）有効性・必要性」において、有効性に疑問ありと評価しているのであるならば、総合評価「C」は甘過ぎると思う。事業の市民PR及びボランティア組織育成、町内会助成のあり方等問題解決策の検討を望むものである。</p>	<p>一部反映する。</p>	<p>これまでの実施地区（8地域町内会）の実績から全市的な事業としての有効性に疑問があるということで、その必要性を否定しているものではありません。</p> <p>ただし、現実として実施地区が広がらない状況の中では、運動促進に向けた課題調整が必要と考えています。このようなことから、総合評価は「C」といたしました。</p>	